

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	前治療のある肺癌手術の後方視的研究
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 呼吸器外科学 浦本秀隆
研究参加拒否 申込受付期間	2025年12月31日までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までをお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2026年4月30日
対象者	2000年1月から2023年12月までの間に、肺がんの診断にて当院で化学療法または放射線治療を行われた後に、呼吸器外科で手術を受けられた方
当該研究の意義・ 目的	今回の研究は、肺癌に対して化学療法、または放射線治療などの前治療を受けた後に、手術を受けた方の治療成績を後ろ向きに集積して解析することで、その切除の有効性・安全性を検討し明らかにすることです。
方法および研究で 利用する試料・情報 の取得方法	本研究は、患者さんの病歴や治療前の検査結果、原発性肺癌に対して治療の詳しい内容、その後の手術までの経過、手術の内容、手術後の経過などについて集計します。今回は、データを集計するのみで追加で行う検査などはありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
利用又は提供する 外部への試料・情報 の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。 対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査し、共同研究機関へ提供します。病気の進行状況、併存疾患、治療内容、その後の経過に関して診療録情報を元に調査させていただき解析に利用させていただきます。新たな検査・治療は一切発生いたしません。外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究 対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。

る旨について	
研究代表施設・代表者	金沢医科大学 呼吸器外科学 浦本秀隆
研究組織	金沢医科大学
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院呼吸器外科 浦本秀隆 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表) 076-286-3511 内線呼吸器外科 浦本秀隆

作成日： 2024年1月27日